

イスラームの英雄

第 11 巻

ヌサイバ・ビント・カアブ

ウフドの女傑、アッラーの使徒 ﷺ の盾 — クルアーンとハディースに基づいて

Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 11 巻

ヌサイバ・ビント・カアブ

ウフドの女傑、アッラーの使徒 ﷺ の盾 — クルアーンとハディースに基づいて

مَنْ عَمِلَ صَٰلِحًا مِّن ذَكَرٍ أَوْ أُنثَىٰ وَهُوَ مُؤْمِنٌ فَلَنُحْيِيَنَّهُۥ حَيَوٰةً طَيِّبَةً ۖ
وَلَنَجْزِيَنَّهُمْ أَجْرَهُم بِأَحْسَنِ مَا كَانُوا۟ يَعْمَلُونَ ﴿٩٧﴾

「誰でも善い行いをし（真の）信者ならば，男でも女でも，われは必ず幸せな生活を送らせるであろう。なおわれはかれらが行った最も優れたものによって報奨を与えるのである。」

蜜蜂章 16:97

Hj Che Alim Hj Che Haron

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

男であれ女であれ、働く者の働きを決してむだにされないアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけアカバで忠誠を誓い、ウフドでアッラーの使徒 ﷺ を守ったヌサイバ・ビント・カアブ رضى الله عنها に祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 11 巻は、ヌサイバ・ビント・カアブ（ウンム・ウマーラ）رضى الله عنها の生涯を語ります。アカバの夜に忠誠を誓った二人の女性の一人であり、その問いが部族連合章 33:35 の啓示のきっかけと伝えられ、ウフドでアッラーの使徒 ﷺ を守るために立ち上がり、ハディースを伝え、戦士たちの母となり、ヤマーマでも戦った女性です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは早朝の ***ウフド山***、マディーナの北にある山です。赤みを帯びた花崗岩の峰々が、尾根の間から差し込む金色の光に照らされています。ヒジュラ暦 3 年、この山のふもとでウフドの戦いが起こりました。

手前の岩だらけの地面には ***キルバ***（革の水袋）が置かれています — ヌサイバが負傷者に水を与えるためにウフドへ出かけたことを思い出させます。その横には ***盾***、***剣***、***矢***があり、多くの人が退いたときにアッラーの使徒 ﷺ を守って立ち続けた彼女の勇気を象徴しています。

やわらかな朝の光は、クルアーンにあるアッラーの約束を象徴しています。善い行いをする信仰ある男女には、幸せな生活と完全な報奨が与えられるのです（蜜蜂章 16:97）。

下部の ***濃紺の帯***は ***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 10 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

ヌサイバ・ビント・カアブ — *はじめに*

1. ヌサイバ・ビント・カアブとは誰か — *スィーラと伝記の書*

2. アカバの夜の誓い — *イブン・イスハーク；悔悟章 9:71*

3. 「女性が何にも触れられていない」 — *ティルミズィー3211；部族連合章 33:35*

4. アッラーの御前で男女は等しい — *蜜蜂章 16:97；イムラーン家章 3:195*

5. 水を持ってウフドへ — *サヒーフ・ブハーリー2880；イブン・サアド*

6. ウフドでのアッラーの使徒ﷺの盾 — *イブン・サアド；イブン・ヒシャーム*

7. 「楽園であなたの仲間にしてください」 — *イブン・サアド；ザハビー*

8. 彼女を止められなかった傷 — *イブン・サアド；イブン・ヒシャーム*

9. リドワーンの誓いとその後の戦い — *サヒーフ・ブハーリー4167；勝利章 48:18*

10. アッラーの使徒ﷺの訪問 — *ティルミズィー785*

11. ウドゥー（小浄）のハディースの伝承者 — *アブー・ダーウード 94*

12. 戦いを受け継いだ二人の息子 — *サヒーフ・ブハーリー1195*

13. ハビーブ・ブン・ザイドの殉教 — *イブン・イスハーク；イブン・ヒシャーム*

14. ヤマーマ：捧げられた片手 — *イブン・サアド；タバリー*

15. カリフの敬意と晩年 — *イブン・サアド；ザハビー*

16. ヌサイバ・ビント・カアブの人柄 — *まとめ*

17. ヌサイバの物語の出典 — *表*

18. ヌサイバの物語に登場する人物 — *表*

19. ヌサイバの物語に登場する場所 — *表*

20. ヌサイバの生涯の年表 — *表*

21. ヌサイバについてよくある質問 — *12 の質問*

22. 教訓とむすび

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

ヌサイバ・ビント・カアブ

ウフドの日、ムスリムの隊列が崩れて多くの人が退いたとき、アンサールの一人の女性が水袋を置き、剣と弓を手にアッラーの使徒 ﷺ の前に立って、彼に向けられた攻撃を防ぎました。その女性こそ、***ウンム・ウマーラ***の名で知られる***ヌサイバ・ビント・カアブ***رضى الله عنها です。

彼女は***アカバ***の夜にアッラーの使徒 ﷺ に忠誠を誓った二人の女性の一人でした。***ウフド***、***フダイビヤ***、***ハイバル***、***フナイン***、***ヤマーマ***に参加しました。女性の立場についてアッラーの使徒 ﷺ に尋ねた彼女の問いは、***部族連合章 33:35*** の啓示のきっかけと伝えられています。

この電子書籍は***『イスラームの英雄』***シリーズの第 11 巻です。これまでの巻と同じく、まずクルアーンとハディースから、次にスィーラ（預言者伝）と歴史の書から物語を集めました。戦場でのヌサイバの勇気を伝える話の多くは、伝承経路の弱い歴史資料にしか見られず、そのことを各章で正直に説明しています。

ヌサイバの物語は、男性も女性もアッラーから等しく報奨を約束されていること、そしてイスラームのための献身に性別はないことを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヌサイバ・ビント・カアブとは誰か

彼女のフルネームは*ヌサイバ・ビント・カアブ・ブン・アムル*・アル＝アンサーリーヤで、マディーナの*ハズラジュ族*の一支族、マーズィン・ブン・アン＝ナッジャール家の出身です。クンヤ（通称）は*ウンム・ウマーラ*で、ハディースの書ではこの名で登場します。

最初の夫は*ザイド・ブン・アースィム*で、教友となった二人の息子*ハビーブ・ブン・ザイド*と*アブドゥッラー・ブン・ザイド*が生まれました。のちに*ガズィーヤ・ブン・アムル*と結婚し、タミームとハウラが生まれました。孫の*アッバード・ブン・タミーム*は信頼できるハディース伝承者です。

名前と称号

名前・称号	説明
ヌサイバ・ビント・カアブ	本名
ウンム・ウマーラ	クンヤ。ハディースの書ではこの名で登場
アル＝アンサーリーヤ・アル＝マーズィニーヤ	ハズラジュ族マーズィン・ブン・アン＝ナッジャール家の出身
ハディースの伝承者	その伝承は『アブー・ダーウード』と『ティルミズィー』に収録

教訓

信仰あるアンサールの家族 — 母、二人の息子、そして孫が、命と財産と知識をもってイスラームに仕えました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アカバの夜の誓い

預言者の使命第 13 年の巡礼の季節、マディーナの男性 73 人と女性 2 人が、ミナーの *アカバ*でひそかにアッラーの使徒 ﷺ と会い、彼を守ることを誓いました。

歴史の注：アカバの二人の女性

イブン・イスハークによれば、その夜に誓った二人の女性は*ヌサイバ・ビント・カアブ（ウンム・ウマーラ）*と*アスマー・ビント・アムル（ウンム・マニーウ）*でした。アッラーの使徒 ﷺ は女性と握手をされず、彼女たちの誓いは言葉で受け入れられました。

伝承の評価： アカバの夜に誓った人々の名簿はスィーラの書でよく知られています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）；イブン・サアド『大列伝』。

アッラーは、信仰する男女は互いに仲間であると言われます。

悔悟章 9:71

وَٱلْمُؤْمِنُونَ وَٱلْمُؤْمِنَٰتُ بَعْضُهُمْ أَوْلِيَآءُ بَعْضٍ ۚ يَأْمُرُونَ بِٱلْمَعْرُوفِ وَيَنْهَوْنَ عَنِ ٱلْمُنكَرِ وَيُقِيمُونَ ٱلصَّلَوٰةَ وَيُؤْتُونَ ٱلزَّكَوٰةَ وَيُطِيعُونَ ٱللَّهَ وَرَسُولَهُۥٓ ۚ أُو۟لَٰٓئِكَ سَيَرْحَمُهُمُ ٱللَّهُ ۗ إِنَّ ٱللَّهَ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٧١﴾

男の信者も女の信者も，互いに仲間である。かれらは正しいことをすすめ，邪悪を禁じる。また礼拝の務めを守り，定めの喜捨をなし，アッラーとその使徒に従う。これらの者に，アッラーは慈悲を与える。本当にアッラーは偉力ならびなく英明であられる。

訳：三田了一 — quran.com/9:71

教訓

女性はマディーナのイスラームの最初の日から、呼びかけの責任を担っていました。ヌサイバは、イスラームがまだ弱く、その誓いがアラブ全体の敵意を招きかねないときに誓ったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「女性が何にも触れられていない」

ヌサイバは、クルアーンにおける女性の立場についてアッラーの使徒 ﷺ に尋ねることをためらいませんでした。

ハディース — ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー、No. 3211

حَدَّثَنَا عَبْدُ بْنُ حُمَيْدٍ، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ كَثِيرٍ، حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ بْنُ كَثِيرٍ، عَنْ حُسَيْنٍ، عَنْ عِكْرِمَةَ، عَنْ أُمِّ عُمَارَةَ الأَنْصَارِيَّةِ، أَنَّهَا أَتَتِ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم فَقَالَتْ مَا أَرَى كُلَّ شَيْءٍ إِلاَّ لِلرِّجَالِ وَمَا أَرَى النِّسَاءَ يُذْكَرْنَ بِشَيْءٍ فَنَزَلَتْ هَذِهِ الآيَةُ : (إِنَّ الْمُسْلِمِينَ وَالْمُسْلِمَاتِ وَالْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ) الآيَةَ .

訳：

ウンム・ウマーラ・アル＝アンサーリーヤは預言者 ﷺ のもとに来て言った。*「すべてが男性のためのものばかりで、女性は何にも触れられていないように思います。」* すると、この節が下された。*「本当にムスリムの男と女、信仰する男と女……」*（節の終わりまで）。

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アブド・ブン・フマイド ← ムハンマド・ブン・カスィール ← スライマーン・ブン・カスィール ← フサイン・ブン・アブドゥッラフマーン ← イクリマ ← ウンム・ウマーラ・アル＝アンサーリーヤ رضي الله عنها。

出典： イマーム・ティルミズィー『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』クルアーン解釈の書、部族連合章の章、ハディース番号 3211。

等級： ハサン（良好）— ダールッサラーム版でハサン。ティルミズィーは「ハサン・ガリーブ」と述べ、アルバーニーは伝承経路を真正と判定。

典拠： https://sunnah.com/tirmidhi:3211

部族連合章 33:35

إِنَّ ٱلْمُسْلِمِينَ وَٱلْمُسْلِمَٰتِ وَٱلْمُؤْمِنِينَ وَٱلْمُؤْمِنَٰتِ وَٱلْقَٰنِتِينَ وَٱلْقَٰنِتَٰتِ
وَٱلصَّٰدِقِينَ وَٱلصَّٰدِقَٰتِ وَٱلصَّٰبِرِينَ وَٱلصَّٰبِرَٰتِ وَٱلْخَٰشِعِينَ وَٱلْخَٰشِعَٰتِ
وَٱلْمُتَصَدِّقِينَ وَٱلْمُتَصَدِّقَٰتِ وَٱلصَّآئِمِينَ وَٱلصَّآئِمَٰتِ وَٱلْحَٰفِظِينَ فُرُوجَهُمْ
وَٱلْحَٰفِظَٰتِ وَٱلذَّٰكِرِينَ ٱللَّهَ كَثِيرًا وَٱلذَّٰكِرَٰتِ أَعَدَّ ٱللَّهُ لَهُم مَّغْفِرَةً وَأَجْرًا
عَظِيمًا ﴿٣٥﴾

本当にムスリムの男と女，信仰する男と女，献身的な男と女，正直な男と女，堅忍な男と女，謙虚な男と女，施しをする男と女，斎戒（断食）する男と女，貞節な男と女，アッラーを多く唱念する男と女，これらの者のために，アッラーは罪を赦し，偉大な報奨を準備なされる。

訳：三田了一 — quran.com/33:35

この節は信者の十の資質を挙げ、そのすべてで男性と女性がともに言及されています。報奨も同じく、赦しと偉大な報奨です。

教訓

信仰を理解するために尋ねることは称賛される資質です。一人の誠実な女性の問いが、ムスリムが審判の日まで唱える節の啓示のきっかけと伝えられています。

アッラーの御前で男女は等しい

男女に同じ報奨を保証している節は、部族連合章 33:35 だけではありません。アッラーは言われます。

蜜蜂章 16:97

مَنْ عَمِلَ صَٰلِحًا مِّن ذَكَرٍ أَوْ أُنثَىٰ وَهُوَ مُؤْمِنٌ فَلَنُحْيِيَنَّهُۥ حَيَوٰةً طَيِّبَةً ۖ وَلَنَجْزِيَنَّهُمْ أَجْرَهُم بِأَحْسَنِ مَا كَانُوا۟ يَعْمَلُونَ ﴿٩٧﴾

誰でも善い行いをし（真の）信者ならば，男でも女でも，われは必ず幸せな生活を送らせるであろう。なおわれはかれらが行った最も優れたものによって報奨を与えるのである。

訳：三田了一 — quran.com/16:97

そして、アッラーの道のために移住し、戦い、迫害された人々について。

イムラーン家章 3:195

فَٱسْتَجَابَ لَهُمْ رَبُّهُمْ أَنِّى لَآ أُضِيعُ عَمَلَ عَٰمِلٍ مِّنكُم مِّن ذَكَرٍ أَوْ أُنثَىٰ ۖ بَعْضُكُم مِّنۢ بَعْضٍ ۖ فَٱلَّذِينَ هَاجَرُوا۟ وَأُخْرِجُوا۟ مِن دِيَٰرِهِمْ وَأُوذُوا۟ فِى سَبِيلِى وَقَٰتَلُوا۟ وَقُتِلُوا۟ لَأُكَفِّرَنَّ عَنْهُمْ سَيِّـَٔاتِهِمْ وَلَأُدْخِلَنَّهُمْ جَنَّٰتٍ تَجْرِى مِن تَحْتِهَا ٱلْأَنْهَٰرُ ثَوَابًا مِّنْ عِندِ ٱللَّهِ ۗ وَٱللَّهُ عِندَهُۥ حُسْنُ ٱلثَّوَابِ ﴿١٩٥﴾

主はかれら（の祈り）を聞き入れられ，（仰せられた）。「本当にわれは，あなたがたの誰の働いた働きもむだにしないであろう。男でも女でも，あなたがたは互いに同士である。それで移住した者，故郷から追放された者，わが道のために迫害され，また奮戦して殺害された者には，われはきっとかれらから凡ての罪業を消滅して，川が下を流れる楽園に入らせよう。」これはアッラーの御許からの報奨である。アッラーの御許にこそ，最も優れた報奨がある。

訳：三田了一 — quran.com/3:195

このイムラーン家章の節は、アッラーの道で「戦って殺された」人々の報奨を語り、「男でも女でも、あなたがたの誰の働いた働きもむだにしない」という約束から始まります。ヌサイバの物語は、この節の生きた実例です。

教訓

アッラーの御前での尊さの基準は、性別ではなく信仰と善行です。誠実な行いは、どんなに小さくても決してむだになりません。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

水を持ってウフドへ

ヒジュラ暦3年シャウワール月、ムスリムはクライシュ族の軍と対峙するため*ウフド*へ出陣しました。何人かの女性も、水を与え負傷者を手当てするために同行しました。アナス・ブン・マーリクは、ウフドの日にアーイシャとウンム・スライムが背中に水袋を担ぎ、戦士たちの口に水を注いでいるのを見たと伝えています（サヒーフ・ブハーリー2880）。

歴史の注：ウフドのヌサイバと夫と二人の息子

イブン・サアドによれば、ヌサイバは夫ガズィーヤ・ブン・アムルと二人の息子ハビーブ、アブドゥッラーとともにウフドへ出陣しました。その日の初め、彼女は負傷者に水を与えるために*キルバ*（水袋）を運んでいました。

伝承の評価：イブン・サアドがワーキディーを通じて伝えたもので、ハディース学者はワーキディーを弱い（*マトルーク*）と判定しています。ウフドでのヌサイバの勇気はスィーラの書でよく知られ、歴史家にも受け入れられていますが、細かな言葉は真正の段階には達していません。

参照：

イブン・サアド『大列伝』（ウンム・ウマーラの伝記）；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

教訓

戦いには一人ひとりに役割があります。渇いた人に水を与え、負傷者を手当てすることは、大きな報奨のあるジハードです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ウフドでのアッラーの使徒ﷺの盾

弓兵たちが丘を離れ、クライシュ族が背後から攻撃すると、ムスリムの隊列は崩れました。アッラーの使徒ﷺのまわりに残ったのは、ごく少数の教友だけでした。

歴史の注：「右を向いても左を向いても……」

イブン・サアドによれば、ヌサイバは水袋を置き、夫と二人の息子とともにアッラーの使徒ﷺの前に立ち、剣で攻撃を防ぎ、弓で矢を放ちました。その日、彼女は***十二の傷***を負い、最もひどいのはイブン・カミアの一撃による肩の傷で、深い傷跡が残りました。アッラーの使徒ﷺはこう言われたと伝えられます。***「ウフドの日、右を向いても左を向いても、彼女が私を守って戦っているのが見えた。」***

伝承の評価：イブン・サアドがワーキディーを通じて伝えたもので、ハディース学者はワーキディーを弱い（*マトルーク*）と判定しています。ウフドでのヌサイバの勇気はスィーラの書でよく知られ、歴史家にも受け入れられていますが、細かな言葉は真正の段階には達していません。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；イブン・ヒシャーム『預言者伝』；ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

教訓

本当の勇気は、多くの人が退くときに試されます。ヌサイバは自分の身の安全ではなく、アッラーの使徒ﷺの安全を考えました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「楽園であなたの仲間にしてください」

ある歴史の伝承は、ウフドの戦いのさなかの心打たれる瞬間を伝えています。

歴史の注：一つの家族のための使徒ﷺの祈り

アッラーの使徒 ﷺ は、この家族が自分の前で戦うのを見て、彼らのために祝福を祈られたと伝えられます。ヌサイバは「楽園であなたの仲間となれるよう、アッラーに祈ってください」と言いました。彼は祈られました。 ***「アッラーよ、彼らを楽園で私の仲間としてください。」*** ヌサイバは「それからは、この世で何が私に降りかかっても気にしませんでした」と言いました。

伝承の評価： イブン・サアドがワーキディーを通じて伝えたもので、ハディース学者はワーキディーを弱い（*マトルーク*）と判定しています。ウフドでのヌサイバの勇気はスィーラの書でよく知られ、歴史家にも受け入れられていますが、細かな言葉は真正の段階には達していません。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

教訓

信者の最高の願いは楽園と、そこでアッラーの使徒 ﷺ とともにいることです。目的がはっきりすれば、この世の苦しみは軽くなります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

彼女を止められなかった傷

ウフドの翌日、アッラーの使徒 ﷺ は、ウフドで戦った人々に、多くがまだ負傷していたにもかかわらず、クライシュ族を*ハムラー・アル＝アサド*まで追撃するよう命じられました。

歴史の注：ハムラー・アル＝アサド

ヌサイバも出陣したいと願いましたが、肩の傷が重く、一晩中手当てを受けたと伝えられます。アッラーの使徒 ﷺ はハムラー・アル＝アサドから戻ると、家に入る前にアブドゥッラー・ブン・カアブ・アル＝マーズィニーを遣わして彼女の様子を尋ねさせ、無事だと聞いて喜ばれました。

伝承の評価： イブン・サアドがワーキディーを通じて伝えたもので、ハディース学者はワーキディーを弱い（*マトルーク*）と判定しています。ウフドでのヌサイバの勇気はスィーラの書でよく知られ、歴史家にも受け入れられていますが、細かな言葉は真正の段階には達していません。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；イブン・ヒシャーム『預言者伝』。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、男女を問わずすべての教友を気にかけておられました。ヌサイバの献身は彼にとって大切なものでした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

リドワーンの誓いとその後の戦い

ヒジュラ暦 6 年、ヌサイバはウムラ（小巡礼）のためにアッラーの使徒 ﷺ とともに出発し、それは*フダイビヤ*の和約で終わりました。一本の木の下で教友たちは彼に忠誠を誓いました。これが*リドワーンの誓い*です。彼女の息子アブドゥッラー・ブン・ザイドもその場にいました。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 4167

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، عَنْ أَخِيهِ، عَنْ سُلَيْمَانَ، عَنْ عَمْرِو بْنِ يَحْيَى، عَنْ عَبَّادِ بْنِ تَمِيمٍ، قَالَ لَمَّا كَانَ يَوْمُ الْحَرَّةِ وَالنَّاسُ يُبَايِعُونَ لِعَبْدِ اللَّهِ بْنِ حَنْظَلَةَ فَقَالَ ابْنُ زَيْدٍ عَلَى مَا يُبَايِعُ ابْنُ حَنْظَلَةَ النَّاسَ قِيلَ لَهُ عَلَى الْمَوْتِ. قَالَ لاَ أُبَايِعُ عَلَى ذَلِكَ أَحَدًا بَعْدَ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم. وَكَانَ شَهِدَ مَعَهُ الْحُدَيْبِيَةَ.

訳：

アッバード・ブン・タミームは言った。ハッラの日、人々がアブドゥッラー・ブン・ハンザラに忠誠を誓っていたとき、イブン・ザイドは尋ねた。「イブン・ハンザラは何について人々の誓いを受けているのか。」「死についてです」と言われると、彼は言った。*「アッラーの使徒 ﷺ の後、私はそのことについて誰にも誓わない。」* 彼はフダイビヤでも使徒とともにいたのである。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスマーイール・ブン・アビー・ウワイス ← アブー・バクル・アブドゥルハミード（その兄弟） ← スライマーン・ブン・ビラール ← アムル・ブン・ヤフヤー・アル＝マーズィニー ← アッバード・ブン・タミーム ← アブドゥッラー・ブン・ザイド・アル＝マーズィニー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、フダイビヤ遠征の章、ハディース番号 4167。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4167

アッラーは、その木の下で誓った人々を喜ばれました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

勝利章 48:18

۞ لَّقَدۡ رَضِيَ ٱللَّهُ عَنِ ٱلۡمُؤۡمِنِينَ إِذۡ يُبَايِعُونَكَ تَحۡتَ ٱلشَّجَرَةِ فَعَلِمَ مَا فِي قُلُوبِهِمۡ فَأَنزَلَ ٱلسَّكِينَةَ عَلَيۡهِمۡ وَأَثَٰبَهُمۡ فَتۡحًا قَرِيبًا ١٨

かれらがあの樹の下であなたに忠誠を誓った時，アッラーは信者たちに，ことの外御満悦であった。かれはかれらの胸に抱くことを知り，かれらに安らぎを下し，手近な勝利をもって報われた。

訳：三田了一 — quran.com/48:18

歴史の注：ハイバルとフナイン

イブン・サアドは、ヌサイバがフダイビヤ、ハイバル、補いのウムラ、マッカ征服、フナインにも参加したと伝えています。フナインの日、多くの人が退いたときも、彼女は再び踏みとどまりました。

伝承の評価： イブン・サアドがワーキディーを通じて伝えたもので、ハディース学者はワーキディーを弱い（*マトルーク*）と判定しています。ウフドでのヌサイバの勇気はスィーラの書でよく知られ、歴史家にも受け入れられていますが、細かな言葉は真正の段階には達していません。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

教訓

母の誓いは息子に受け継がれました。アブドゥッラーは生涯の終わりまで、アッラーの使徒 ﷺ への誓いを守り通しました。

アッラーの使徒ﷺの訪問

アッラーの使徒 ﷺ はある時、ヌサイバの家を訪ねられました。これは孫のハビーブ・ブン・ザイドが伝えています。

ハディース — ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー、No. 785

حَدَّثَنَا مَحْمُودُ بْنُ غَيْلاَنَ، حَدَّثَنَا أَبُو دَاوُدَ، أَخْبَرَنَا شُعْبَةُ، عَنْ حَبِيبِ بْنِ زَيْدٍ، قَالَ سَمِعْتُ مَوْلاَةً، لَنَا يُقَالُ لَهَا لَيْلَى تُحَدِّثُ عَنْ جَدَّتِهِ أُمِّ عُمَارَةَ بِنْتِ كَعْبٍ الأَنْصَارِيَّةِ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم دَخَلَ عَلَيْهَا فَقَدَّمَتْ إِلَيْهِ طَعَامًا فَقَالَ " كُلِي " . فَقَالَتْ إِنِّي صَائِمَةٌ . فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " إِنَّ الصَّائِمَ تُصَلِّي عَلَيْهِ الْمَلاَئِكَةُ إِذَا أُكِلَ عِنْدَهُ حَتَّى يَفْرُغُوا " . وَرُبَّمَا قَالَ " حَتَّى يَشْبَعُوا " .

訳：

ウンム・ウマーラ・ビント・カアブ・アル＝アンサーリーヤによれば、預言者 ﷺ が彼女のもとを訪ねられたので、彼女は食事を差し出した。彼は「食べなさい」と言われた。彼女は「私は断食しています」と言った。するとアッラーの使徒 ﷺ は言われた。*「断食している人のそばで他の人が食べると、彼らが食べ終わるまで、天使たちがその人のために祈る。」* あるいは「満腹になるまで」と言われた。

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：マフムード・ブン・ガイラーン ← アブー・ダーウード・アッ＝タヤーリスィー ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージュ ← ハビーブ・ブン・ザイド・アル＝アンサーリー ← ライラー（彼らの解放奴隷） ← ウンム・ウマーラ・ビント・カアブ رضي الله عنها。

出典： イマーム・ティルミズィー『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』断食の書、「そばで食事がされる断食者の美徳」の章、ハディース番号 785。

等級： ハサン（良好）— ダールッサラーム版でハサン、ティルミズィーは「ハサン・サヒーフ」と述べる。ただしアルバーニーは、伝承者ライラーが不明であるため弱いと判定。

典拠： https://sunnah.com/tirmidhi:785

教訓

ヌサイバは任意の断食を守る、礼拝に励む女性でした。このハディースは、客をもてなす作法と断食者の美徳も教えています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ウドゥー（小浄）のハディースの伝承者

ヌサイバは戦士であるだけでなく、ハディースの伝承者でもありました。アッラーの使徒 ﷺ のウドゥーの様子を見て、孫に伝えました。

ハディース — スナン・アビー・ダーウード、No. 94

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ جَعْفَرٍ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ حَبِيبٍ الأَنْصَارِيِّ، قَالَ سَمِعْتُ عَبَّادَ بْنَ تَمِيمٍ، عَنْ جَدَّتِهِ، وَهِيَ أُمُّ عُمَارَةَ أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم تَوَضَّأَ فَأُتِيَ بِإِنَاءٍ فِيهِ مَاءٌ قَدْرُ ثُلُثَيِ الْمُدِّ .

訳：

アッバード・ブン・タミームは、祖母ウンム・ウマーラから次のように伝えた。***預言者 ﷺ がウドゥーをされたとき、ムッドの三分の二ほどの水が入った器が運ばれた。***

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ムハンマド・ブン・バッシャール ← ムハンマド・ブン・ジャアファル（グンダル） ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージュ ← ハビーブ・ブン・ザイド・アル＝アンサーリー ← アッバード・ブン・タミーム ← ウンム・ウマーラ رضى الله عنها。

出典： イマーム・アブー・ダーウード『スナン』清浄の書、「ウドゥーに足りる水の量」の章、ハディース番号 94。

等級： サヒーフ（真正）— アルバーニーが『サヒーフ・スナン・アビー・ダーウード』で真正と判定。

典拠： https://sunnah.com/abudawud:94

ムッドは大人の両手のひらにすくえるほどの量で、約三分の二リットルです。つまりアッラーの使徒 ﷺ は、半リットルにも満たない水でウドゥーをされたのです。学者たちはこのハディースを、ウドゥーで水をむだにすることが禁じられている根拠としています。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ から学んだ知識は、ヌサイバの家族の中で受け継がれました。祖母から孫へ、そしてウンマ全体へ。

戦いを受け継いだ二人の息子

ヌサイバの息子*アブドゥッラー・ブン・ザイド・ブン・アースィム・アル＝マーズィニー*は、『サヒーフ・ブハーリー』と『サヒーフ・ムスリム』で預言者のウドゥーの仕方を伝えた教友です。夢でアザーン（礼拝の呼びかけ）の言葉を見たアブドゥッラー・ブン・ザイド・ブン・アブド・ラッビヒとは別人です。彼が伝えたハディースの一つ：

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 1195

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، أَخْبَرَنَا مَالِكٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ أَبِي بَكْرٍ، عَنْ عَبَّادِ بْنِ تَمِيمٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ زَيْدٍ الْمَازِنِيِّ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَا بَيْنَ بَيْتِي وَمِنْبَرِي رَوْضَةٌ مِنْ رِيَاضِ الْجَنَّةِ ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・ザイド・アル＝マーズィニーによれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。*「私の家と私の説教壇の間は、楽園の庭の一つである。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ ← マーリク・ブン・アナス ← アブドゥッラー・ブン・アビー・バクル ← アッバード・ブン・タミーム ← アブドゥッラー・ブン・ザイド・アル＝マーズィニー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』マッカとマディーナのモスクでの礼拝の美徳の書、ハディース番号 1195。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:1195

もう一人の息子*ハビーブ・ブン・ザイド*は、次の章で語るように、母の心を揺さぶる出来事の中で殉教することになります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓

信仰ある母は信仰ある世代を育てます。ヌサイバの息子たちは戦士となり、今日まで知識が届く伝承者となりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハビーブ・ブン・ザイドの殉教

アッラーの使徒 ﷺ の晩年、***偽預言者ムサイリマ***がヤマーマで預言者を名乗りました。アッラーの使徒 ﷺ はハビーブ・ブン・ザイドに手紙を持たせて彼のもとへ送られました。

歴史の注：「聞こえない」

イブン・イスハークによれば、ムサイリマはハビーブを捕らえて尋ねました。「ムハンマドがアッラーの使徒であると証言するか。」ハビーブは「はい」と答えました。ムサイリマは再び尋ねました。「私がアッラーの使徒であると証言するか。」ハビーブは「聞こえない」と答えました。ムサイリマは彼の手足を一つずつ切り落とし、問いを繰り返すたびにハビーブの答えは変わらず、ついに彼は殉教しました。知らせがヌサイバに届くと、彼女は耐え忍び、ムサイリマの最期を見届けると決意しました。

伝承の評価： スィーラと教友伝の書でよく知られていますが、連続した伝承経路はありません。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）；イブン・サアド『大列伝』；イブン・アブドゥルバッル『アル＝イスティーアーブ』。

教訓

ハビーブは偽りを認めるより殉教を選びました。息子を失ったヌサイバの忍耐は、母にとって最も重い試練でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヤマーマ：捧げられた片手

アブー・バクル・アッ＝スィッディークの時代、*ハーリド・ブン・アル＝ワリード*率いるムスリム軍が、**ヤマーマ**（ヒジュラ暦 11〜12 年）でムサイリマと戦うために出陣しました。すでに年老いていたヌサイバも、同行の許しを求めました。

歴史の注：死の園で

イブン・サアドによれば、ヌサイバは息子アブドゥッラー・ブン・ザイドとともにヤマーマで戦い、十一の傷を負い、***片手を失いました***。ムサイリマはその戦いで殺され、アブドゥッラー・ブン・ザイドも彼に打ちかかった一人だったと伝えられます。戦いの後、ハーリド・ブン・アル＝ワリード自らがヌサイバの傷を手当てしたとも伝えられます。

伝承の評価： イブン・サアドがワーキディーを通じて伝えたもので、ハディース学者はワーキディーを弱い（*マトルーク*）と判定しています。ウフドでのヌサイバの勇気はスィーラの書でよく知られ、歴史家にも受け入れられていますが、細かな言葉は真正の段階には達していません。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

教訓

ヌサイバの戦いは年齢で終わりませんでした。アカバからヤマーマまで、彼女は誓いに忠実であり続けました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

カリフの敬意と晩年

歴史の注：ウンム・ウマーラに最上の衣

イブン・サアドによれば、ウマル・ブン・アル＝ハッターブの時代、カリフのもとに高価な衣が届き、その中に特に上等な一枚がありました。ある人々は、それを息子の妻に与えるよう勧めました。ウマルは「それにふさわしい人、ウンム・ウマーラに送ろう」と言い、ウフドの日にアッラーの使徒 ﷺ がヌサイバについて語られた言葉を思い起こしました。

伝承の評価： イブン・サアドがワーキディーを通じて伝えたもので、ハディース学者はワーキディーを弱い（*マトルーク*）と判定しています。ウフドでのヌサイバの勇気はスィーラの書でよく知られ、歴史家にも受け入れられていますが、細かな言葉は真正の段階には達していません。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

ヌサイバの没年ははっきりとは分かっていません。伝記の書は、彼女がヤマーマの後まで生き、マディーナに葬られたことを伝えるのみです。

教訓

カリフたちは教友たちの献身を大切にしました。ヌサイバの本当の誉れは、部族連合章 33:35 にあるアッラーの約束です。

ヌサイバ・ビント・カアブの人柄

ヌサイバの物語は、勇気と知識と崇拝をあわせ持った信仰ある女性の姿を描いています。

資質	彼女の生涯からの例
早い信仰	アカバの夜に誓った
尋ねる勇気	女性についての問い（ティルミズィー3211）
勇敢さ	ウフドでアッラーの使徒 ﷺ を守った
崇拝	任意の断食（ティルミズィー785）
知識	ウドゥーのハディースの伝承者（アブー・ダーウード 94）
忍耐	息子ハビーブの殉教
揺るぎなさ	アカバからヤマーマまで

教訓

ヌサイバは、女性が戦士であり、学者であり、礼拝者であることを同時にかなえられること、そしてそのすべてがアッラーとその使徒に大切にされることを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヌサイバの物語の出典

この表は、読者が真正な話と単に有名な話とを区別できるよう、各物語の出典と評価をまとめたものです。

物語	出典	評価
女性についての問い；部族連合章 33:35	ティルミズィー3211	ハサン
ムッドの三分の二でのウドゥー	アブー・ダーウード 94	サヒーフ
訪問と断食者の美徳	ティルミズィー785	見解が分かれる
フダイビヤのアブドゥッラー・ブン・ザイド	サヒーフ・ブハーリー4167	サヒーフ
「私の家と説教壇の間」	サヒーフ・ブハーリー1195	サヒーフ
ウフドで水を配った女性たち	サヒーフ・ブハーリー2880	サヒーフ
アカバの誓い	イブン・イスハーク	スィーラ
ウフドでアッラーの使徒 ﷺ を守った	イブン・サアド（ワーキディー）	弱い
「楽園での私の仲間」の祈り	イブン・サアド（ワーキディー）	弱い
ハビーブ・ブン・ザイドの殉教	イブン・イスハーク	スィーラ
ヤマーマと失われた片手	イブン・サアド（ワーキディー）	弱い
ウマルから贈られた衣	イブン・サアド（ワーキディー）	弱い

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヌサイバの物語に登場する人物

人物	役割
ザイド・ブン・アースィム	最初の夫
ガズィーヤ・ブン・アムル	二番目の夫。ウフドに参加
ハビーブ・ブン・ザイド	息子。ムサイリマにより殉教
アブドゥッラー・ブン・ザイド・アル＝マーズィニー	息子。ウドゥーのハディースの伝承者、フダイビヤに参加
アッバード・ブン・タミーム	孫。ハディースの伝承者
アスマー・ビント・アムル（ウンム・マニーウ）	アカバで誓ったもう一人の女性
偽預言者ムサイリマ	ヤマーマの偽預言者
ハーリド・ブン・アル＝ワリード	ヤマーマの軍の司令官（第 3 巻）
ウマル・ブン・アル＝ハッターブ	彼女に敬意を示したカリフ

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヌサイバの物語に登場する場所

場所	出来事
マディーナ	生まれ、暮らし、葬られた地
ミナーのアカバ	第二アカバの誓い
ウフド	アッラーの使徒ﷺを守った（ヒジュラ暦3年）
ハムラー・アル＝アサド	傷のため出陣できなかった（3年）
フダイビヤ	リドワーンの誓い（6年）
ハイバルとフナイン	アッラーの使徒ﷺとともに参加（7〜8年）
ヤマーマ	ムサイリマとの戦い。片手を失う（11〜12年）

ヌサイバの生涯の年表

年	出来事
預言者の使命第13年	アカバの夜に誓う
ヒジュラ暦3年	ウフド。十二の傷。ハムラー・アル＝アサド
6年	フダイビヤとリドワーンの誓い
7〜8年	ハイバル、補いのウムラ、マッカ征服、フナイン
10〜11年	息子ハビーブ・ブン・ザイドの殉教
11〜12年	ヤマーマ。片手を失う
ウマルの時代	カリフ・ウマルに敬われる

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヌサイバについてよくある質問

この章では、ヌサイバ・ビント・カアブ رضي الله عنها についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔で、詳しくはこれまでの章にあります。

1. ヌサイバのフルネームは？

ヌサイバ・ビント・カアブ・ブン・アムル・アル＝アンサーリーヤ。マーズィン・ブン・アン＝ナッジャール家の出身で、クンヤはウンム・ウマーラ。

2. アカバで誓った女性は何人か？

二人。ヌサイバ・ビント・カアブとアスマー・ビント・アムル（ウンム・マニーウ）。

3. ヌサイバの問いによって下された節は？

『ティルミズィー』3211 によれば、部族連合章 33:35。

4. ウフドでのヌサイバの役割は？

戦士たちに水を与え、多くの人が退くとアッラーの使徒 ﷺ を守った。

5. ヌサイバはウフドで何か所の傷を負ったか？

イブン・サアドは十二の傷と伝えるが、伝承経路は弱い。

6. ヌサイバが伝えたハディースは？

その一つが、ムッドの三分の二の水でのウドゥーのハディース（アブー・ダーウード 94）。

7. ヌサイバの子どもたちは？

ハビーブとアブドゥッラー（ザイドの息子たち）、そしてタミームとハウラ。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

8. ハビーブ・ブン・ザイドはどのように殉教したか？

ムサイリマの預言者性を認めることを拒み、彼に殺された。

9. ヤマーマでヌサイバに何が起きたか？

イブン・サアドによれば、戦って片手を失った。

10. ヌサイバの物語はすべて真正か？

いいえ。戦いの詳細の多くは弱いワーキディーを通じて伝わっているが、大筋はよく知られている。

11. ヌサイバはいつ亡くなったか？

はっきりとは分かっていない。ヤマーマの後まで生きていた。

12. ヌサイバの物語の最大の教訓は？

男性も女性も、信仰と善行に対してアッラーから等しく報奨を約束されている。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓とむすび

ヌサイバ・ビント・カアブ رضى الله عنها の物語は、アカバでの若い女性の誓いに始まり、ヤマーマで片手を捧げた年老いた母で終わります。

教訓	ヌサイバの物語から
報奨に性別はない	部族連合章 33:35 と蜜蜂章 16:97
尋ねる勇気	節の啓示のきっかけと伝えられる問い
勇敢さ	ウフドでアッラーの使徒 ﷺ を守った
知識と崇拝	ハディースの伝承者であり断食する人
世代を育てる	戦士となり伝承者となった息子たち
忍耐	息子の殉教を受け入れた
揺るぎなさ	生涯の終わりまで誓いに忠実

男性も女性も、ヌサイバから学びましょう。信仰を堅く守り、真理のために勇敢に立ち、アッラーの使徒 ﷺ とともに楽園にいることを常に願うことを。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、また別のイスラームの英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。https://quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（悔悟章 9:71；部族連合章 33:35；蜜蜂章 16:97；イムラーン家章 3:195；勝利章 48:18）。

ハディース

サヒーフ・ブハーリー 1195、2880、4167。https://sunnah.com/bukhari

スナン・アビー・ダーウード 94。https://sunnah.com/abudawud

ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー 785、3211。https://sunnah.com/tirmidhi

スィーラ・歴史・伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）。

イブン・サアド『大列伝』（ウンム・ウマーラの伝記）。

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』。

イブン・アブドゥルバッル『アル＝イスティーアーブ』。

ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『教友識別の書（アル＝イサーバ）』。

Wikipedia「Nusaybah bint Ka'ab」。https://en.wikipedia.org/wiki/Nusaybah_bint_Ka%27ab

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 10 巻：アムル・ブン・アル＝アースまで。特に第 1 巻：ハムザ（ウフドの戦い）と第 3 巻：ハーリド・ブン・アル＝ワリード（ヤマーマ）。https://quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

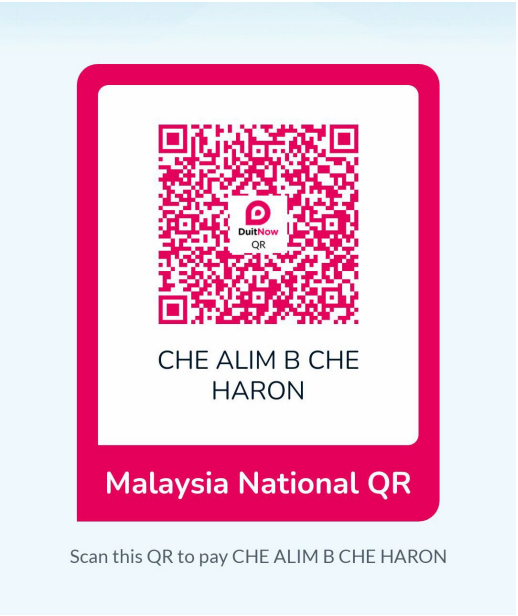
ル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience